

**《千葉県DV防止・被害者支援基本計画（第4次）》
令和2年度施策 評価シート**

評価コード 14

施策の方向	生活の安定に向けた支援の推進
担当課	児童家庭課

1 事業の概要

基本目標	Ⅲ	施策の方向	5	施策の内容	DV被害者が必要とする各種制度の周知と活用への支援
当初予算額(千円)			0	決算額(千円)	0
事業の概要・目的	76 DV被害者が利用可能な各種制度等の総合的な情報提供（児童家庭課） DV被害者が自立の過程で必要なときに必要な支援を適切に受けることができるよう、被害者が利用可能な各種制度等の情報を網羅したハンドブックを作成し、県及び市町村等の相談機関に配布する。 これにより、相談機関や相談員の力量の違いにより被害者への情報提供等のサービスに格差が生じることなく、県内全域で被害者が適切にサービスを受けられることを目指す。				
数値目標など					
指標名等	-				
目標	-		実績	-	

2 事業実績・評価等

(1) 施策の実施結果

平成29年度に作成し、配偶者暴力相談支援センターや市町村、民間支援団体等に配付したDV被害者のための支援機関ハンドブック（相談員用）について、記載内容を加除修正し、更新して配布した。また、児童虐待対策関係機関との更なる連携を図るため、児童相談所にも送付した。当事者用については、市町村や民間団体、配暴センターに取扱いについてアンケートを取ったところ、相談員用で対応可能との意見が多かったため廃止とした。当事者には相談員用の必要な箇所をコピーして渡す等の対応をお願いした。

(2) 評価（別紙視点参照）

様々な支援機関や制度を網羅したハンドブックの作成・配付により、様々な支援機関における相談対応の質の向上を図れるとともに、被害者が抱える様々な課題の相談先について、迷うことなく被害者自らが相談することも可能であり、被害者の自立の一助となるものである。

3 課題及び改善すべき点はあるか、ある場合、今後どのように対応していくのか。

<課題・改善すべき点>
 配偶者暴力相談支援センターの新設や新たな制度の創設に伴い掲載情報が古くなることもあるため、定期的に情報を更新することが望ましい。

<今後の方針>
 相談員・被害者双方にとって、より使いやすいハンドブックとなるよう、市町村等の意見を聞きながら毎年情報を更新し、各支援機関に配付する。

4 委員意見

ハンドブックの適切な利用のために、情報の定期的な更新や、Web上に掲載する等、DV被害者が情報を得やすい配慮をお願いしたい。また、職務関係者を対象とした研修にハンドブックの活用方法を盛り込む等、支援者が適切に活用できるよう検討をお願いしたい。